

第1577回例会報告

平成30年11月22日 (木) 雨

身体は老いても
心が老いないように
慈しみの心
人を思いやる心
物を大切に
自分の中に育てたい
しようじん

会長告知

会長 北原 厚子

みんなちがってみんないい

1577回 11月22日

北国から初雪の知らせが届き始めるころ。
二十四節気のひとつ、今日、十一月二十二日に「小雪」が訪れます。

ここ諏訪でも雪は降らずとも、冷たい木枯らしが吹き渡ります。

晩秋の冷たい空気が肌をさすように感じはじめるのも、このころです。

このころになると、自然も人も冬支度を始めます。



いまは、美しかった紅葉も終わり、やがて枯葉に身を包んだ糞虫が木の枝からぶら下がり、池の鯉たちも冬眠に向けて準備をはじめめる時節になります。私たちも、乾燥や寒さに備えて、加湿器や暖房器具の準備をしたり、冷え込む夜の食卓にお鍋を囲んだり。ひとつひとつ楽しみながら冬支度をしている中、テレビでは、被災された方々が不自由な生活をしている姿や、世界中の難民の方たちが露天で寒さに震えている様子などが目に飛び込んできます。見返りのない優しさで考えて出てくるものではありませんが、無いものねだりで、どうすればいいのだろうと考え込んでしまいます。

さて、20日に職業奉仕委員会主催の会員セミナーが開かれました。準備をしていただいた副委員長の平山会員のご苦勞に心より感謝申し上げます。出席者は十数名と少なくともったいな気はしましたが、宮坂健会員も久しぶりに元気に発言され、大先輩のそれぞれのご意見をお伺いしながら、私は金子みすゞさんの詩を思い出していました。

それは、「わたしと小鳥と鈴と」の一節です。

「わたしが両手をひろげてもお空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、地べたをはやく走れない。

わたしが体をゆすっても、きれいな音はでないけど、あのなる鈴はわたしのように、たくさんのうたはしらないよ。

鈴と、小鳥と、それからわたし、「みんなちがってみんないい」

まさに「みんな違ってみんないい」といったセミナーでした。毎週の例会では、発見できないものに気付く単なるスタイルだけに留まらず、ロータリーに対する理解や姿勢の違いも見えてきてとても有意義な時間を共有できました。またこのような機会がありましたら、ぜひ、みなさまも参加していただきクラブの新しい魅力づくりにも、しっかりと目を向けていきたいものです。

金子 みすゞ(大正時代末期から昭和時代初期にかけて活躍した日本の童謡詩人)

☆幹事報告

【報告事項】

1:理事会報告

12月のプログラムが決まりました。

- ・12/6 社会奉仕担当例会
- ・12/13年次総会
- ・12/20クリスマス夜間家族例会
- ・12/27休会
- ・12/16早朝アダプト 諏訪湖清掃です。

みんなちが
みんないい



♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば	
会員数	38人	7名	11,000	小林さん 本日はよろしくお願ひします。 萩田 均	
出席対象	38人	累計	309,000	小林会員 今日にはよろしくお願ひします。楽しみにしています。クラブ会報 宮坂	
出席者数	26	目標額	60万円	面白いお話を期待申し上げます。近江	
出席率	68.4%	達成率	51.5%	結婚祝いありがとうございます。大澤 邦彦	
前回修正	78.9%			食事だけいただいて帰ります。高山 巖	

クラブ会報・雑誌広報委員会 担当例会 会員卓話

～私の言いたいこと～ 小林聖仁会員



「ほとけさまの心」で生きる

明日もあると思っている「いのち」は、何時、どこで、どうなるか解りません。そして誰にでも確実に死期はやって来ます。夏に咲く朝顔は昼にはしぼんでしまふ花です。それでも精一杯に咲いて私たちに涼しさを届けてくれています。今朝を一生懸命に生きているのです。しかも無理なく自然そのままに、だから美しいのかもしれない。

その花が毎日を「その日その日」を大切に生きるように教えてくれています。

「生かされて生きている」自分に気づく

この世に生まれたものは誰でも老いて、病んで、死んでいきます。あなたも私も、だから今を大切に生きたいです。この世のものは、すべて縁りあって生かされて生きています。生かされて生きていることに気づくと自分に出来ることを、出来る範囲で精一杯させていただき生き方をするようになります。更生保護活動は「支え合い」「つくしあい」の社会づくり活動です。

「やりがいの活動は生きがいのなる」

これからも出来る限りの範囲で活動を続けたいと思います。

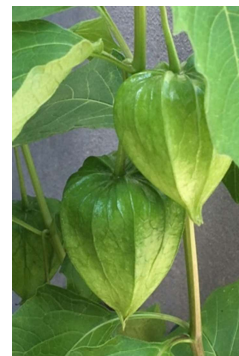


Photo by 小林聖仁会員